

3学期の活動報告

岐阜市立加納幼稚園

3歳児

お正月遊びや、節分の鬼づくりなど季節を感じる遊びもします。



3学期にない、お正月ならではの遊びもみんな楽しんでいきました。コマ回しや絵合わせ遊びなど、初めて経験する子もいましたが、遊び方がわかってくると楽しくない、何度も繰り返し楽しんでいきました。

1月15日には、加納の町中に立つ鬼を見に出かけました。見上げるほどの大きな鬼を見て、“自分達でも作ってみたい”と鬼を作ってみました。

先生のカモ借りながら、自分たちでイメージした鬼を作っていきます。

自分たちで考えて作っていいこうとする姿が育ってきています。

3歳児

友達と一緒に、自分の興味のあることをすることが楽しくなってきました。



友達と一緒に、自分の興味のあることでどんどん遊んでいく姿がありました。

友達と一緒に遊ぶことがとても楽しそうです。年中・年長児の遊びを真似して自分たちでもやってみたり、日々の遊びを経験してく中で、“もっとこんな遊びもやってみたい！”と興味をもったことをやってみたいする姿がありました。

寒くても園庭で元気いっぱい外で遊んだり、室内では、みんなでステージごっこをしたいしていました。

いろいろな人に見てもらえることが嬉しくて、お客さんを呼んできては、歌ったり踊ったりしていました…

そんな姿が、生活楽しみ会につながっていったのだなと思います。

3歳児

役になりきることを
楽しんだり、リズム打ち
を友達と顔を見合わせて
楽しみました。



3歳児にとっては、初めての生活楽しみ会でした。

おうちの人が見に来てみえて、「緊張するね〜。」という声もありましたが、大きな声でお話をしたり、歌ったり踊ったり楽器の演奏をしたりと、それぞれの子が一生懸命な姿を見ていただくことができたのではないかと思います。

4歳児



興味のあることで
継続的に遊びます。



続いては、4歳児です。3学期に入り、2学期から続けている縄跳びやあやといなどにも引き続き取り組んでいます。

続けていくことで、少しでもできるようになるとそれが嬉しくて、ますますやってみようとする姿が見られます。

また、すごろくやコマ回しなどのお正月遊びも、先生に遊び方を教えてもらいながら、友達と一緒に楽しく遊んでいます。

始業式で園長先生に見せていただいたマジックを、自分達でもやってみようとする姿もありました。

「お水はどのくらい入れたらいいかな？」と話し合いながら試していました。

無事に成功すると、「見てみて、できたよ！」と見せ合い、とても嬉しそうでした。

4歳児



年長児の姿も刺激となり、自分たちでもやってみようとする姿が見られました。



1月の岐阜東幼稚園とのドッジボール大会で、年長児の活躍を見て、“自分たちも！”という思いが強くなり、年中児同士でドッジボール対決をしたい、年長児と一緒にドッジボールを楽しむ姿がたくさん見られるようになってきました。また、「大きい組さんのように、一輪車に乗れるようになりたい！」という思いをもって、一輪車に挑戦するようにもなってきました。

また、寒い時期には室内であやとりに夢中になって、どんどん技を磨いていく姿もありました。

外では、寒さが予想される前日に、入れ物に水を入れて氷ができることを楽しみにしたり、氷に色水をかけて、「かき氷みたいだね」と見立てて遊んだり、違う色の色水をかけて色の変化を楽しんだりしていききました。色が変わっていくと「〇〇色に変わったね～」と変化に興味津々で見っていました。

4歳児



自分たちで、どんな
劇がいいか、何をす
るのが楽しいのか、
考えていきます。



自分たちで、ペープサートを作ってお話を披露したり、「どんなお話がいいかな。」と考えたい・・・
劇を決めた後は、「何を作ったらいいかな・・・」「木の
おうち、やっぱり茶色かな・・・」と自分たちで相談
したり、時には先生から考えをもらったりして、劇に
必要なものを作ったり、役になりきって演じてみたいし
ていきました。

4歳児

楽しみ会



少し緊張もしたけれど、
楽しんでる姿をおうちの
人に見ていただくこと
ができました。



楽しみ会では、とにかくない切ることが楽しかった3歳の時から少し様子が変わって、どんなものが必要かを先生や友達と一緒に作ったり、どんなふうに役になりきるのかを考えたいしながら取り組んでいます。少しずつクラスのみんなでやろうという気持ちが生えてきていきます。

5歳児・ドッジボール対決



続いて5歳児です。1月19日に、同じ岐阜市立幼稚園の仲間である、岐阜東幼稚園の年長児と加納幼稚園の年長児とで、ドッジボール対決をしました。この日に向けて、さくら組もいちょう組も、毎日ドッジボールに取り組んできました。何度も作戦会議をしたり、思うようにいかなくて励まし合ったりしていくうちに、クラスの絆は強まっていきました。

当日は、岐阜東幼稚園のたいよう組が1位、さくら組が2位、いちょう組が3位でしたが、みんなで力を合わせるという経験がととてもできた1日となりました。

5歳児・様々な人との交流



お茶の会

いろいろな人との
つながりがありました



節分楽しみ会



岐阜中央ライオンズクラブ
からのプレゼント贈呈



加納東交通安全女性から
のプレゼント贈呈



加納小学校との交流

節分楽しみ会では、在園児保護者のお父さんが鬼に扮してください、豆まきを楽しみました。年少・年中の子たちの中には怖くて思わず泣き出してしまふ子もいましたが、年長組の子たちは、慣れた様子で、鬼に豆を投げていました。

また、地域の方から、プレゼントをいただく機会もありました。

昨年度に引き続き、岐阜中央ライオンズクラブの方たちによる、遊具の贈呈式がありました。

みんなで遊べるものをプレゼントしてくださいました。

そして、加納東地区の交通安全女性のみなさんからは、手作りの給食の十フキンセットをいただきました。

こちらは、毎年、子どもたちに交通安全を守ってほしいという願いを込めて、交通安全女性のみなさんがプレゼントを作ってくださっていたのですが、来年度からは、交通安全女性の役割がなくなるということで、今年度が最後のプレゼントとなりました。プレゼントをいただいたお礼に、みんなで園歌を歌いましたが、交通安全女性の方の中には、加納幼稚園出身の方もおり、園歌を聞いて、懐かしさのあまり目に涙をためているかたもいらっしゃいました。

5歳児



楽しみ会に向けて

自分たちで、やってみたい
ことを考えながら
取り組みました

生活楽しみ会は、5歳児の子たちはどんな会かということはもちろんにイメージがあるようで、「こんな劇をやりたい！」ということ、それぞれのクラスで話し合いました。

いちょう組は、自分たちでポップコーンを育て、調理してみんなに振舞った経験からヒントを得た創作劇、さくら組は、自分たちの好きな絵本を基にした創作劇をすることになりました。どんなお話にするか、大道具・小道具はどんなものがよいか、をみんなでお話し合い、考えながら作っていきます。作りながら、「〇〇もあるといいよね・・・」とさらに思いが膨らんでいくようです。

5歳児



クラスみんなで
考えて作っていき
ました。

取り組むうちに、
みんなの表情もだ
んだん真剣になっ
ていきました。



みんなで話し合っ、試行錯誤していきながら、いちょう組、さくら組で、どんな楽しみ会にするかを決めていきました。

“おうちの人に見てもらいたい”という思いも高まってきて、日に日に真剣になってきました。それでも、笑顔も垣間見え、とても楽しそうな表情もたくさん見られました。

5歳児 ～生活楽しみ会～



自分たちのもてる力を出し切りました。

楽しみ会当日は、おうちの方が見守る中、これまで自分たちが取り組んできたことを見ていただきました。

力を出し切っている姿を見ていただくことができたのではと思います。

5歳児は、卒園まであと10日程となりました。

小学校へ行く期待感と共に、心配や不安なこともあるかと思います。

加納幼稚園で培ったたくましさで、困難なことも乗り越えて、楽しい小学校生活を送ってほしいと思います。



1年間、ありがとうございました。